

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成26年3月17日 NO.98

花ちゃん 「『知恵の木』は、モンタ博士が作ってくれたんですね。」

オー君 「どうもありがとうございました。」

モンタ博士「どういたしまして。休み時間になると、校長室の前に子ども達がたくさん集まってくれて、モンタ博士はとってもうれしいね。これからも、子ども達、みんなが喜（よろこ）ぶようなことをいろいろと考えるからね。楽しみにしててね。ところで、『知恵の木』の右にも、黄色の花を咲かせている植物があるけど、気がついてくれたかな。」

花ちゃん 「はい。見ました。マンサクとサンシュユの花ですね。」

モンタ博士「そうか、見てくれたんだ。気がついてくれたんだ。うれしいね。それじゃ、今日は、マンサクとサンシュユのお話をしようかな。」



オー君 「マンサクって、花びらが黄色いリボンや紙テープのようですね。」

モンタ博士「なるほど。リボンやテープのようか……。よく観察できているね。その通りだね。モンタ博士はこのマンサクのお花が大好きなんだ。」

花ちゃん 「どうしてですか。モンタ博士。」

モンタ博士「それはね、春一番に咲くお花だからだよ。」

オー君 「春一番に？」

モンタ博士「山の木がまだかたい冬芽（ふゆめ）をもっているのに、春一番に早くさく木の花で、『まずさく』という言葉からきているらしいよ。」

オー君 「『まずさく』から、『まんさく』ですか。何だよ、だじゃれみたいだ。」

花ちゃん 「黄色の花びらは4枚で、本当にリボンみたいな花びらでかわいいですね。」

オー君 「あざやかなきれいな黄色の花で、おいら気に入った。」



マンサク（マンサク科）

モンタ博士「それから、とてもきれいに咲くので、満開（花が最高にさくこと）の様子を秋の田んぼの豊年満作（ほうねんまんさく一ゆたかに実ること）にたとえて、それで、満作（まんさく）とも言われているんだよ。」

オー君 「どこに咲いているんですか。国立にはあるんですか。」

モンタ博士「そうだね。ちょっと山に入るとあるんだけど、残念ながら国立にはないね。」

花ちゃん 「そうですか。それじゃ、どこに行けば咲いているんですか。」

モンタ博士「八王子や奥多摩などに山々には、あちこちで見られるね。モンタ博士のおうちの近くに今熊山という所があるけど、そこには、たくさんあるね。」

花ちゃん 「サンシュユというのは、どういうお花なんですか。」

モンタ博士「マンサクは、昔から日本に自生（じせいー自然に生えていること）しているけど、サンシュユというのは、江戸時代に中国から入ってきた植物なのさ。」

今熊山（いまくまさん）

高尾山・陣場山に比べると、それほど有名な山ではないが、武州今熊山と言われ、山麓と頂上に神社があり、山岳信仰として歴史の古い山である。南ルートはスギやヒノキなどの植林地が多く、北ルートは山麓から落葉広葉樹林が広がっており、樹種も多様性に富んでいる。マンサクが多く見られるのは北ルート。途中、金剛の滝に下りる道があり、滝周辺は夏などに涼を楽しめる。また、近くには五日市の名刹広徳寺もあり、秋には大きなイチョウが色付き見事。山麓周辺は江戸時代からの経済林としてのコナラ・クヌギ林が広がっている。頂上付近は神社の聖地にふさわしく、照葉樹林が見られ、幹回り50cmを超えるツクバネガシなどが林立している。最近、頂上付近の木を伐採し、見晴らしもよくなり、八王子や上川も眼下に見下ろせるようになった。春・秋などハイキングとしては手ごろな山である。標高は505メートル。